

## 令和6年度第1回北上市総合教育会議

- 1 日 時 令和6年10月29日（火）午前10時
- 2 場 所 北上市役所本庁舎 5階第1会議室
- 3 協 議 持続可能なまちづくり推進プロジェクトの中間評価について
- 4 報 告 市内大学設置に関する検討状況について

### 5 会議に出席した構成員

市長	八重樫 浩文
副市長	及川 義明
教育長	船田 浩
教育長職務代理者	佐藤 和美
教育委員	高橋 隆紀
教育委員	照井 睦子
教育委員	小原 紀実

### 6 説明のため出席した職員

企画部 企画部長	齋藤 昌彦
政策企画課長	金田 明
財務部 財務部長	八重樫 義正
財政課長	皆川 礼一郎
まちづくり部 まちづくり部長	鈴木 善一
生涯学習文化課長	児玉 康宏
スポーツ推進課長	小田嶋 和広
健康こども部 健康こども部長	高橋 晋
子育て支援課長	久保田 達夫
教育部 学校教育課長	中村 隆一
文化財課長	佐藤 康浩
学校給食センター所長	伊藤 泰樹
中央図書館長	菅野 勝文
博物館館長	渋谷 洋祐
鬼の館館長	後藤 幸生

7 事務局

教育部 教育部長  
          総務課長  
          総務課長補佐

澤藤 樹史  
石川 貴洋  
高橋 顕祐

8 傍聴者

2名

9 会議の概要

協議事項として、持続可能なまちづくり推進プロジェクトの中間評価について、各担当部長からプロジェクトの中間評価をそれぞれ説明した後、中間評価の内容や検討すべきプロジェクト事業等を中心に意見交換した。

また、報告事項として、市内大学設置に関する検討状況について、企画部から説明した後、各委員から意見を受けた。

10 会議録

次のとおり

(開会 午前10時)

(1 開会)

教育部長

(2 市長あいさつ)

市長

今年度は、7月31日に子ども計画に係る意見交換をいただいたが、本日は、今年度第1回目の総合教育会議を開催させていただくものである。

今回は、協議事項を「持続可能なまちづくり推進プロジェクトの中間評価」としており、各推進プロジェクトの今年度の進捗状況を踏まえていただいた上で、来年度の施策展開に向けたご意見をいただきたいと考えている。

また、報告事項を「市内大学設置に関する検討状況」としており、市政座談会等の様々な場面で市民の方々からの意見をいただいている。これまでの検討状況をご報告させていただき、教育委員の方々からも意見をいただきたいと考えている。

本日は、忌憚の無いご意見をよろしくお願いしたい。

(2 教育長あいさつ)

教育長

総合教育会議の制度ができてから10年が経過し、同会議が形骸化しないためにも、本日の総合教育会議は重要な場となると捉えている。

本日は、有意義な意見交換をお願いしたい。

(3 協議 持続可能なまちづくり推進プロジェクトの中間評価について)

各部長

別紙持続可能なまちづくり推進プロジェクトのうち、教育委員会に関連する3プロジェクトである「子育て寄り添いプロジェクト」、「学びの改革プロジェクト」、「地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」の中間評価資料に基づき、教育委員会に関連性の高い項目を中心に説明

(以下、説明に係る意見交換)

佐藤 和美 委員

「子育て寄り添いプロジェクト」における指標⑦「子育て環境の充実度」に係り、令和5年度実績の落ち込みは、一時的なものと判断しているとの説明が昨年度の本会議であったが、令

和6年度も実績値は期待値以下となったままである。満足度を上げるために、市が実施している様々な事業を子育て施策対象者へアピールする必要があるとの認識であると聞いていたが、今後は、どのような対応を検討しているか。

健康こども部長      市民生活ガイド等を通じた情報提供を進めているが、毎年内容を更新している媒体ではないことから、様々な機会を通じた情報提供を図る必要があると捉えている。

市長                      他市と比較した際に、子育て支援に関する施策は同程度であると捉えており、この満足度は現状を反映していないのではないかと捉えている。様々な事業の周知を今後も取り組みたい。

佐藤 和美 委員      「学びの改革プロジェクト」における「不登校児童生徒への対応」に係り、市独自のスクールソーシャルワーカーは設置いただいているが、保護者等が更に相談しやすい体制とするためにも、スクール・カウンセラーの設置を検討する必要があるかと思われる。

教育部長              市独自の設置も検討する必要があると捉えているが、現状の設置体制における学校や保護者等との連携の仕方も検証が必要であると捉えている。

市長                      スクール・カウンセラーの市独自の設置については、予算等も含めた効果的な在り方を検証して行きたい。

佐藤 和美 委員      「地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」における「ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進」に係り、ランフェスへ市外の方々の参加もありがたいが、市内の方々が参加するイベントとすることも重要かと思われる。

まちづくり部長      今年度は、ハーフマラソンへの参加者が増えたが、市外からの参加が多い状況であった。市内の方が参加しやすいリレー形式の導入等、新たな競技形態の導入も検討する必要があると捉えている。



学校復帰につながった児童生徒も一定数いる一方で、多国籍児童生徒への対応を進めている状況であり、今後も、市内への転入状況を注視しながら対応を進めたい。

多国籍児童生徒の中には、県内の高等学校へ進学した生徒もあり、このような事例が多くなる様な取り組みを進めて行きたい。

照井睦子委員

「子育て寄り添いプロジェクト」における「保育所等利用定員数の適正化と保育人材の確保」に係り、保育士が定着しない要因を考えた際、会計年度任用職員の形態で勤務される方が多く、複数年の雇用が確保されていないことが要因と思われる。安定的な雇用形態とする必要があるのではないか。

健康こども部長

毎年の入園者数の推移に併せて会計年度任用職員を採用している状況である点に併せ、採用者自体も正職員ではない採用形態を望む方もいる。

企画部長

会計年度任用職員の制度へ変更したことにより、採用期間が単年度ではなくなっており、給与面でも賞与制度の導入等の改善を進めている。

小原 紀実 委員

「地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」における「市民の郷土意識向上への取り組み」に係り、一次的な遅れがある推進方針となっている。

図書館内における読書スペースが少ないように見受けられ、ソファ等読書スペースを更に確保する予定はあるか。

博物館へ収蔵品管理システムを導入し、収蔵品を介した都市の魅力を発信するとされているが、具体的な発信手法を教えてください。

鬼の館常設展に対するアンケートの主な内容と、そのアンケート内容に対する改善を教えてください。

教育部長

図書館の設備については、来館者の状況を見ながら対応を検討したい。

博物館の収蔵システムについては、対外的に公開することもできるシステムであり、多言語対応等の準備を進めたいと考え

ている。

展示更新については、いただいたアンケートは、30年前の映像が依然展示されており、リニューアルの必要があるのではないかという内容であった。今後、鬼の館協議会等の議論も踏まえて検討を進めたいと考えている。

小原 紀実 委員

鬼の館については、開館30周年記念事業を盛り上げていただいております、取り組みを継続いただきたい。

「文化芸術を活用したまちづくりの推進」に係り、今年度における新たな課題・社会動態の変化等として、「未就学児向けの文化芸術体験」の充実が挙げられており、芸能団体とも連携しながら充実を進めていただきたい。

「地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」における「民俗芸能の育成と伝承」に係り、市の宝である民俗芸能の伝承のため、民俗芸能団体への支援を進めていただきたいと考えているが、市長の考えを伺いたい。

「ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進」において、ランフェスに家族と一緒に参加して楽しめるイベントを検討いただきたい。なお、開催時期として他マラソン大会との競合については検討する必要があるかと思われるが、いかがか。

まちづくり部長

開催時期については、旧きたかみマラソンから開催日を継続している点、同時期に県内各地でマラソン大会が開催されている点等から、変更することは難しいと捉えている。

単なるマラソン大会ではなく、ランフェスであるという点を改めて周知していきたい。

市長

民俗芸能団体への支援については、支援の中心的な役割を担っていただいている民俗芸能協会と共に、今回の意見を踏まえて、支援を進めていきたい。

企画部長

(4 報告 市内大学設置に関する検討状況について)  
別紙「大学設置構想策定に向けて」に基づき、大学設置検討の経過、現状の検討状況等を説明





教育長

有意義な意見交換を進めることができ、感謝申し上げます。  
大学が市内に設置されれば、中学生の進学に対する意識やキャリア教育が変わると捉えている。今後、更に市長部局との連携を深めて行きたい。

市長

中間評価に対する意見に関して、いただいた意見を踏まえ、更に改善を図り、効果的に施策を進めて行きたい。  
大学設置に関しては、最終的意思決定に向け、更に検討を深め、今回の意見も踏まえて基本構想の策定を進めたい。

教育部長

(5 閉会)

(閉会 午前11時35分)

令和6年10月29日

議録作成者 北上市長 八重樫 浩文